

自己紹介

私の名前は藤野純一です。メノナイトブレザレン教団の枚方の教会で35年間牧師をして、退職後は、枚方に住んで、名古屋の北にある小牧市の、同じ教団の教会で3年間、牧師をしてきました。3年前に、アリスティア・マッケンナ牧師が、OICでメッセージをするように招いてくださいました。きょうもまたメッセージをさせていただけることを感謝しております。しかし、英語で説教をすることは私にとっては大変です。間違いや、変な英語がたくさんあると思いますが、お赦してください。

では、お祈りします。

父なる神様、OICでメッセージをさせていただけることを感謝します。あなたご自身のおことばから語ってくださって、私たちに教えてください、導いてください。イエス様の御名によってお祈りします。アーメン。

今朝は、使徒パウロが祈った祈りを、ご一緒に見ていきたいと思えます。

エペソ 3:14-19 を見ていきましょう。

3:14 こういうわけで、私は膝をかがめて、**3:15** 天と地にあるすべての家族の、「家族」という呼び名の元である御父の前に祈ります。**3:16** どうか御父が、その栄光の豊かさにしたがって、内なる人に働く御霊により、力をもってあなたがたを強めてくださいますように。**3:17** 信仰によって、あなたがたの心のうちにキリストを住まわせてくださいますように。そして、愛に根ざし、愛に基礎を置いているあなたがたが、**3:18** すべての聖徒たちとともに、その広さ、長さ、高さ、深さがどれほどであるかを理解する力を持つようになり、**3:19** 人知をはるかに超えたキリストの愛を知ることができますように。そのようにして、神の満ちあふれる豊かさにまで、あなたがたが満たされますように。

この箇所では、パウロは、自分の祈りを紹介しています。

彼は、神の前にひざまずいて祈ります。

私は、何度か、このように祈ったことがあります。「神様、私はこれだけへりくだって、真剣に祈っているんです。ですから、神様、私の祈りを聞いてください」

パウロは、このように、神様に自分をアピールしているわけではありません。

そうではなくて、パウロは、神様のすばらしさ、偉大さに圧倒されて、祈っています。

そして、その祈りは、16節からはじまります。

1. あなたがたが、神の栄光の豊かさにしたがって強められるように 3:16

3:16 どうか御父が、その栄光の豊かさにしたがって、内なる人に働く御霊により、力をもってあなたがたを強めてくださいますように。

この祈りは、「私はこれだけ信仰を持って祈っているんだから、私はこれだけ努力しているんだから、私の祈りを聞いてください」とかではありません。祈っている私たちの条件とか、資格とかを、何も語っていません。ただ、神様がどんなお方であるかを見えています。そして、「御父の栄光の豊かさにしたがって・・・力をもって、あなたがたを強めてください。」です。

神様の栄光は、どのようなものでしょうか？ 太陽よりも、この宇宙全体よりも、はるかにすごい栄光です。そ

の神様の「豊かさにしたがって」、私たち人間を強めてくださいということですね。
大体、神様の豊かさにしたがって、私たちが強められるなんてことがあり得るでしょうか？
そうすると、私たちがもう、あり得ないほどに強められて、爆発してしまうかもしれません。
すぐスケールの大きな祈りだと思います。
きょうは、「普通の祈り」というタイトルです。でも、この祈りは、普通どころか、とんでもない、考えられないようなスケールの大きな祈りだと思います。

そして、ここでは、
「内なる人に働く御霊により、力をもってあなたがたを強めてくださいますように」とあります。
「内なる人」とは何でしょうか？
コリント第二 4:16 を見てみましょう。

コリント第二 4:16 ですから、私たちは落胆しません。たとえ私たちの外なる人は衰えても、内なる人は日々新たにされています。

「外なる人」とは何でしょう？ もちろん私たちの肉体がそうでしょう。外から見えますから。
では、私たちのメンタルな部分、精神はどうでしょうか？
私は退職してから、年とともに、仕事や何かをやり続ける力とか、集中力も落ちてしまって、少しずつ衰えてきています。そうすると、メンタルな部分も、「外なる人」になるようです。
では、「内なる人」とは何でしょう？ 「日々新たにされている」とあります。
私は、年をとっても、クリスチャンとしての年数を経るごとに、神様を知ることが、豊かになってきていると思います。聖書を読み、神様と交わり、祈るという中で、神様を身近に感じます。

人間が神様を感じて、神様と交わりを持つてるのは、私たちの霊を通してです。人がイエス・キリストを信じて救われた、その時から、私たちの霊は神様を感じて、神様と交わることができるようになります。私たちの「内なる人」とは、私たちの霊で、神の御霊によって、日々強められていきます。

パウロは、
3:16 どうか御父が、その栄光の豊かさにしたがって、内なる人に働く御霊により、力をもってあなたがたを強めてくださいますように。
と祈っています。
ものすごい祈りです。

2. あなたがたが、人知をはるかに超えたキリストの愛を知るように 3:17-19a

これも、すごい祈りです。

17節の前半です。

3:17a 信仰によって、あなたがたの心のうちにキリストを住まわせてくださいますように。

私たちがキリストを信じた時から、聖霊が私たちの心のうちに住んでいてくださいます。

エペソ 1:13 では、
エペソ 1:13 このキリストにあって、あなたがたもまた、真理のことば、あなたがたの救いの福音を聞いてそれを信じたことにより、約束の聖霊によって証印を押されました。

すべてのクリスチャンの心の中には、キリストを信じたときから、聖霊が与えられたということですが、神の霊である聖霊がおられるならば、当然、神ご自身であるキリストが住んでおられます。

この祈りは、「信仰によって、あなたがたの心のうちにキリストを住まわせてくださいますように」

とありますが、クリスチャンにとっては、「今までキリストを信じていたけれど、まだキリストが心の中に住んでおられなかったので、キリストが住むようにしてください。今からそう信じますから。」という意味ではありません。

すべてのクリスチャン中に、キリストは住んでおられます。

この祈りは、むしろ、「キリストが、私のうちに住んでおられることを信じます。そして、キリストが私のうちではっきりとご自身を表わそうとしておられることを信じます。キリストはそれをしてくださいます。私はそう信頼しています。」という意味です。

「信仰によって」とあります。私たちがどれだけ努力をしているか、どれだけ真面目で真剣であるかではなく、「キリストが私たちのうちに住んでいてくださって、そして住んでおられる以上は、当然、素晴らしいご自身を、私たちを通して、みこころのままにどんどんと表してくださる方だ」、という単純な信仰だけが、ここで求められています。

もし、キリストが私たちを通して、本当にご自身を表してくださるなら、たとえば、一番身近な、いつもいっしょにいる家族が、私たちの変化に気づかないはずがあるでしょうか？キリストに信頼しましょう。キリストはそうしてくださいます。そして、

3:17b そして、愛に根ざし、愛に基礎を置いているあなたがたが、

ここには、まず、私たちのすべてが愛という根、愛という基礎から出て来ているのだと言っています。

退職してから、プランターにプチトマトを植えました。毎日水をやって、支柱を立てて、すると、プチトマトは簡単に成長します。実がどんどんできて、食べきれないようになりました。隣にも分けて、喜んでくださいました。特に何週間もただ眺めるだけでしたので。私たちががしたことは、植えて、水をやって、少し世話をしただけです。そして神様が人間のために創造されたトマトをたくさん味わうことができました。

同じように、キリストが私たちの中に住んでおられて、私たちはその愛に根ざしているわけですから、私たちにキリストの愛が出てくるのは当然ですね。これは、私たちがどれだけ努力するかではありません。私たちは、キリストが必ずこのようにしてくださると信頼して、自分にできること、すべきだと思ふことをさせてもらう。そして、キリストが愛を表される、ご自身を表わしてくださいますということなのです。

愛であるキリストから、愛が出てくる、そしてそれが私たちに表れるということなのです。

その次がまた、すごいですね。

3:18 (あなたがたが) すべての聖徒たちとともに、その広さ、長さ、高さ、深さがどれほどであるかを理解する力を持つようになり、

「愛の広さ、長さ、高さ、深さがどれほどであるか」これは、キリストの愛の大きさ、その範囲が分かるようになるということです。私たちが、キリストの愛の全体像を知ることなんかできるのでしょうか。全く不可能なことと思えます。

パウロの祈りが続きます。

3:19a 人知をはるかに超えたキリストの愛を知ることができますように。

人間にはとても知ることのできないキリストの愛を、一体どうした私たちが知ることができるので

しょうか？

しかし、パウロはこの祈りを祈っています。

では、神様は、パウロのこの祈りに、どのようにお答えになるのでしょうか？

その答えは、多分、キリストが私たちのうちに住んでおられますから、キリストは直接にご自身の愛を私たちに示すことができます。その愛で、私たちを満たすことができます。

ですから、この祈りは、全く可能で、成就します。

祈りの最後は、19節の終わりの部分です。

3. あなたがたが神ご自身のように豊かに満たされるように 3:19b

3:19b そのようにして、神の満ちあふれる豊かさにまで、あなたがたが満たされますように。

今朝の最後の箇所ですが、一番すごい祈りです。いくらなんでも、この祈りはあり得ないと思ってきました。私たちは人間です。神様が造られた被造物に過ぎません。それが、どうして神の満ちあふれる豊かさにまで満たされるのでしょうか。もしこれが実現したら、私たち人間が、神の尊厳、聖さを侵すことにならないでしょうか。この祈りはあり得ないと思いました。あまりにもすご過ぎて、こんな祈りを祈ろうなんて思いませんでした。

しかし、これは聖書のことばです。このみことばを見つめないわけにはいきません。

なぜ、この祈りが正しいと言えるのでしょうか？

何年か後に、創世記 1:26-27 を読んでいたときに、ここにヒントがあると思いました。

創世記 1:26 神は仰せられた。「さあ、人をわれわれのかたちとして、われわれの似姿に造ろう。こうして彼らが、海の魚、空の鳥、家畜、地のすべてのもの、地の上を這うすべてのものを支配するようにしよう。」 1:27 神は人をご自身のかたちとして創造された。神のかたちとして人を創造し、男と女に彼らを創造された。

神は、創造のわざの最後に、人間だけを「神のかたち」として造られました。この「かたち」というのは、似ているところがある、ということですが、問題は、ではどのくらい似ているのかということです。26節では、「われわれのかたち」、「われわれの似姿」、27節では、「ご自身のかたち」、「神のかたち」、そして、とありますので、4回も「神のかたち」、「似姿」であることが強調されています。ですから、私たち人間は、「神に似ているところがある」という程度ではなく、神は、人間を神にとても、とても、とても近い者として造られたことになります。神とほとんど同じようなものとして、造られたことになります。

神は、この世界とそこの中にあるすべての物を造られました。それは神の栄光を表すためです。それから神は人間を創造されました。それは神の栄光だけでなく、神ご自身を地上で表すためです。それが創造の一番最後です。人間だけが、神ご自身の栄光を、尊厳をそのまま表わす者として、神ご自身をそのまま表すような者として造られました。それが、神の創造の中心です。

ところが、その人間が、自ら神に背いて、神と交わりを持たない者になってしまいました。から離れてしまいました。

神のかたちそのものに造られた者が、神から離れてしまったので、自分は何なのか、何に似ていたのかが分からなくなってしまいました。そして、神のない生活をするようになりました。

ただ、「私はこれだけ努力した、これだけのことを成し遂げた、だから私には価値がある、私は偉い」というような見方しかできない者になってしまいました。

そんな人間のために、神は、キリストを遣わして、十字架で人間の罪を完全に贖い、キリストを信じた者のすべての罪が赦され、人間に与えられていた元々の、神様にもものすごく近い、栄光、尊厳を回復されました。私たちの中に神の形を回復され、神との完全な交わりが戻って来ました。

3:19b そのようにして、神の満ちあふれる豊かさにまで、あなたがたが満たされますように。

私たちにとって、この祈りはレベルが高すぎて不可能にすら思えます。「神の満ちあふれるす豊かさにまで、満たされるように」ですから。でも、これは神が、初めに人間を造られたときの姿になるように、という祈りに過ぎません。この一番すごいと思える祈りも、神様にとっては何ら特別なものではありません。これは、神にとって、普通の祈りです。これは、普通の祈りであるだけでなく、神様の祈りの中心でもあります。神は、初めから人間を、まさにこのように造られたからです。

私も、神様が、私たちをこんなにすごい者にしたいと本気で思っておられるんだと、気がついてから、「祈らなければ」から、「祈りたい」と思えるようになりました。

人間関係で少し問題を持っておられるとと思っていた方のために、「神様、あの人を変えてください。そして、私も変えてください。あの方が神さまをよく表せるように導いてください。そして、私もそうなれるように導いてください」と祈るようになりました。そうすると、確かに、その人が少しずつ変わってこられます。しかも、私は何も言いませんが、神様が変えておられるとしか思えない形で変わってこられます。ですから、私もうれしくなって、さらに祈る。そうすると、さらに、神様が働かれる方に、どんどんと変わっていかれる。このように祈りを、示されたいろいろな方々のために（クリスチャンの場合も、そうでない場合も）祈らせていただきますが、神様が、そのような方々のうちで、そして、私自身のうちでも、素晴らしいことをして下さいます。

お祈りしましょう。

神様、あなたは、私たちがイエスを信じたときに私たちを救って下さいました。しかし、その後も、私たちは、自分が頑張ることによって、あなたに仕えようとしてしまうことがあります。しかし、あなたは、いつも私たちをあなたの愛とご自身で満たそうとしておられます。私たちがあなたによって満たされるように、祈ることができますように。そして、少しだけではなく、私たちの心があなたによって満たされるようにしてください。そして、あなたが私たちの中からご自身を表わしてください。あなたが人々に見られることができますように。あなたの栄光と、あなたがどのような方であるかが、人々に分かりますように。

イエスの御名によって祈ります。アーメン。